

学校だより

10月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和二年 九月三十日



すべての人に充実の秋を

校長 吉野 達雄

昨年のこの時期は、「秋を探そう」というテーマで一、二年生と林試の森公園に校外学習へ出かけ、ドングリや松ぼっくりをたくさん拾ってきました。しかし、今秋はコロナの影響で校外に出かける行事もなく残念です。本来、秋は過ごしやすいい気候で、様々な体験学習をすることが出来る時期なのです。感染症対策を講じながら、学校で、家庭で体験できることを探っていきたいですね。

秋と言えば・・・私は読書の秋、スポーツの秋にしたいです。例えば、親子で読んだ本を紹介し合うのはいかがでしょう。きつと素敵な時間になると思います。また、子供たちが未来を力強く生き抜くには、健康な体になることが大切です。ソーシャルディスタンスを取りながら、運動・スポーツをして体を鍛えましょう。今の私にとっての運動は休み時間に子供たちと遊ぶことです。一年生に「校長先生、Tシャツはかっこいいけど、足遅っ!」、二年生や四年生に「リレーやろうよ、鬼ごっこやろうよ」と言われるのは本当に嬉しいです。体は悲鳴をあげていますが、子供たちと遊ぶのは楽しいです。

【コロナ禍における人権について考える】

今、世の中ではコロナを取り巻くいじめが問題になっています。文部科学省からもコロナ感染者に対しての偏見差別や誹謗中傷をなくすよう緊急メッセージが出されました。

○感染した人が悪いということではない。悪いという雰囲気が出てしまうと悪いにくくなったり、病院に行くのが遅くなってしまうということがある。

○感染した人や症状のある人を責めるのではなく、早く治るように励まし、戻ってきたときには温かく迎えてほしい。

○体調がよくないときは、無理せずに休むこともまわりの人のためである。
※「文部科学省からの緊急メッセージ」「白金小コロナによるいじめをなくすための動画」を学校ホームページに載せていますので、ぜひ家族でご覧ください。

【白金小学校でコロナウイルス感染者や濃厚接触者が出たとき】

教育委員会や保健所の指示で濃厚接触者があるか調べたり、校舎内の消毒をしたり適切な対応をしていきます。人権的な配慮から個人が特定されないように、学年や学級を公表しませんが、偏見差別や誹謗中傷、根拠のない噂話につながるないように、私たち大人が冷静に対処していきたいと思えます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

より良い授業を目指して

研究主任 久保田 謙

本校では、今年度、「授業力の向上」「国際科」「授業における情報機器活用」の三本柱をテーマとして研究を進めています。先日は三年二組において国際科の研究授業を行いました。港区の特色である国際科の研究を更に推し進め、「白金スタイル」として発話を中心とした授業スタイルとカリキュラムの作成、日常の中で英語を活用できる場の提供などを進めていきます。子供たちが英語への興味を高めるとともに、技能としても習熟し、卒業後も自信をもって英語学習に取り組むことができるように研究を行っていきます。

地域の保健活動を学ぶ学校保健委員会

保健主任 大久保 美保

本校では毎年、学校保健委員会の一環として六年生が、学校医・学校歯科医・学校薬剤師・港区学校保健会の婦人科医の先生方を講師にお招きし保健の授業を行います。将来、医療機関系の仕事に従事したいと考える児童も多い六年生にとっては、直接講義を受けられる貴重な時間となっています。今年度は、コロナウイルスの影響により会場を分散させたり、講義時間を短くしたりと例年とは違う形での開催になりますが、実り多い学びになるよう工夫をして進めてまいります。